

# 【進路を考える】

## 2 中学部での進路について

義務教育を終える中学部卒業段階では、次のような進路が考えられます。

- 進学（特別支援学校高等部，高等学園，いずみ高等支援学校【女子のみ】，宮城障害者職業能力開発校，仙台みらい高等学園）
- 就職
- 在宅（家事手伝い，療養）
- 障害福祉サービス事業所（入所，通所）※特別の事情がある場合のみ【意見書が必要】

中学部では，作業学習なども行われ「働く」意識を高めていきます。ご家庭でもお手伝いへの取り組みを大切にしてください。

本校では中学部3年生時に地域にある障害福祉サービス事業所の見学を計画しています。受け入れてくださる事業所にもよりますが，親子で事業所を訪問し，見学できる貴重な機会となっておりますのでぜひご活用ください。

特別支援学校中学部卒業段階では上記のような進路先が考えられますが，お子様の現在の力や進路先への適応の見通し，予想される将来の生活などを総合して進路先を考えていきます。

特別支援学校中学部を卒業する生徒たちのほとんどは，高等部に進学するようになりました。本校高等部進学希望であっても，進路を選択・決定するという意識をしっかりとりたいものです。

「高等部があるから高等部へ」「将来のことは高等部へ行ってから考える」ということではなく，お子様の現在の姿を見つめ，ご家族で将来のことを話し合っておかれるとよいでしょう。これからのお子様への接し方や支援の仕方等，大切なことが見えてくると思います。